公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みらい			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 20日		～	2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5家族	(回答者数)	3家族
○従業者評価実施期間	2025年 2月 20日		～	2025年 03月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様へ今日行ったことなど、極力明確にお伝えすることが出来ている。	連絡帳にも行ったことなど記入するが、送迎時等に時間の許す場合、保護者様の顔を見て本日のお子様の様子をお話するようにしている。	これまでは人数が少ないため、出来ていたが、利用人数が増えても、継続出来るといいと思われる。
2	新設された施設であり、清潔な状態は現在保たれている。	衛生面では、アルコールや塩素消毒を徹底し行い、1日に1度以上確実に掃除を行っている。	これからも継続し行い、夏には、食中毒、カビ、冬には様々な感染症の可能性が多くなるため、発生がないようにより、清掃の徹底を行ってきたい。
3	職員の配置人数は現在適していると考えられる。	様々な方面に精通している、職員の配置が出来ていると考えられる。	これから人数が増えてきた際には、現在の人数では不十分であると考えられる。そのため、スタッフが研修へ参加をして知識を深めることや、人員の増員など、スタッフに関してもさらに強化を目指して行きたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境設定が不十分であることがあげられる。 トイレの環境や、静養室の設定、また機能訓練室の設定が不十分である。	①機能訓練室に関して、他の事務室などが、目に入ることにより子どもが気になってしまい作業に集中できない場面が見られている。 ②トイレで流すボタン以外のボタンを押し、予想外のことが起きるため、児童がパニックになりやすい ③静養室の使い方が明確になっていない	①事務室の中が見えなくなるように、窓に目隠しを貼る。 ②流す以外のボタンを押せないようにカバーをつける ③現在出入りが自由になっているが、休みたい利用児がいる時には、入らないように掲示物を作る等工夫をする。
2	地域との交流がまだ図れていない。	地域に出て行くことを始めたばかりで、交流が少ない。飲食店や、地域の組合などと、見学などを通して、交流する等していきたい。	現在、魚に興味のある子どもや、消防に興味のある子どもがおり、JA、漁港組合や、消防団などと関わりが持てることいいと思われる。連携ができることで、子どもの興味を深めることや、利用児のことにに関して、地域の方々にも感心を持ってもらえることが目指せると思われる。
3	保護者の方へ、共有されていない情報がある。	個人情報の管理方法、緊急時の連絡方法、SNSを使った情報の発信方法など、保護者へ周知されていないことがある	保護者様へ、契約時に説明した内容に関しても、随時お便りでお知らせするなど、一度の説明でなく、今度もお伝えする場を設ける。